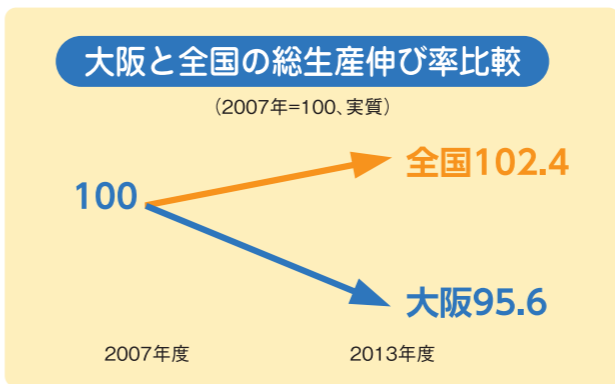


「維新政治」と正面对決する日本共産党

くらしも景気も
ワヤにする大阪維新

アベノミクスをけしかけ、くらしを切り捨てる「維新」では大阪はますます悪化します。橋下氏以来の「維新府政」8年余が証明しています。



「なんでも民営化」で
自治体の公的責任を
投げ捨てる

大阪市立の病院、研究所、大学などを統廃合してつぶし、保育所も、地下鉄も、水道までも、「なんでも民営化」を叫ぶ「維新」。いのちと暮らし、安全・安心を守る自治体の「公」の責任がどんどん投げ捨てられます。



住吉市民病院廃止反対運動

教育破壊と
民主主義破壊

どの子も伸ばす「少人数学級」には背を向け、「チャレンジテスト」1回で高校入試の「内申書」を決め、しかも、「学校別」ランクで左右されるひどい制度が――。
大阪市の職員におこなった「アンケート」という名の「思想調査」は裁判でも違憲と断罪されました。

またぞろ「大阪都」?!

「住民投票はラストチャンス」「終わればノーサイド」(橋下氏)といていたのに、決着がついた「大阪都」(特別区設置)を今度は「副首都になるため」とか、「総合区」と天秤にかけるなど、またもや画策。最悪の住民無視ぶりです。

「身を切る改革」の
ウソ

「身を切る」といいながら、税金分け取りの「政党助成金」は5億円近く、国会議員1人あたり2400万円強を手にかけています。松井知事は「退職金をゼロにした」といいますが、その分を給与に上乘せし、一時金を含め総額は300万円以上増えます。

「土人」発言を擁護

沖縄で「土人」などと差別発言した大阪府警の機動隊員を松井知事が擁護。大ブーイングをひきおこしています。

「反維新」の共同で住民の願い実現

いま、大阪中で政党の違いや団体の垣根を越えた幅広い「反維新」の共同が広がっています。

堺市長選挙

2013年の堺市長選挙では「堺は一つ。堺をつぶすな」を合言葉に、幅広い団体、政党、市民がいつしよになり、「大阪都」に反対する竹山修身市長を勝利させました。



堺市長選挙勝利

大阪市・住民投票

2015年の大阪市の「住民投票」では、「大阪つづしを許すな」と「オール大阪」の市民が結集。賛成69万4844、反対70万5585で否決。投票日の夜、橋下氏は「政界引退」を表明しました。



扇町での集会

「住民の願いを
つなぐ線」

「反維新」の市政で

堺市をはじめ岸和田市、吹田市、寝屋川市など市長選挙で「維新」を打ち破った各市では、「維新政治」と「線」を画し、市民の声にこたえた施策がすすんでいます。

堺市 国保料の引き下げ(7年連続)／泉北高速(鉄道の通学定期補助(17年1月)／お出かけ応援バスの運行／こども食堂の開始

岸和田市 市民病院の産科診療を再開／子ども医療費助成(中学校3年まで)／中学校給食(直営センター方式)／公立幼稚園の3歳児からの受け入れ

吹田市 市有地に保育所2カ所建設／廃止された、はり・きゅう・マッサージ助成復活／幼稚園廃園計画は撤回／3歳児以上の幼稚園受け入れを開始

寝屋川市 小学校3年まで「35人学級」実施／保育料一寡婦控除みなし適用(未婚・人親世帯)／多子世帯等への保育料軽減の拡充／国保料の引き下げ